

MIRAI 防火部材
タイカブラック[®] **ブロック(丸穴)**

品番: **MTKS-BK175**

適合ポイド呼び: 175 適合開口径: ~184mm

別途必要

- 中空壁: 開口補強板(品番: MTKB-175K150)
- 床: Z金具(品番: MTKS-BZM)

※施工構造により、上記の製品が別途必要となります。詳しくはカタログ等をご参照ください。

- 警告**
- 「国土交通大臣認定書」の仕様に基づき、正しく施工してください。
 - ケーブル等は火災時に過大な荷重がかかり、壁・床を損傷することがないように固定してください。
 - ※正しい施工を行わないと火災時に延焼の恐れがあります。
 - 施工した防火部材の上に乗らないでください。
 - ※開口部を破壊して転落したり、すき間が生じて火災時に延焼の恐れがあります。

注意 ●以下の事項を守らない場合、人体に影響を及ぼす恐れがあります。

- ブロック**
- ブロック・パテが皮膚に付着した場合は必要に応じて触れた箇所を石鹸等で洗浄してください。(人体への特別な影響が必ずあるわけではありません。)
 - ブロック・パテが目に入った場合は、真水で数分間洗浄し、傷がある場合や刺激を感じる場合等、必要に応じて医師の手当てを受けてください。
 - ブロック・パテを誤って飲み込んだ場合は、真水でよく口を洗浄し、必要に応じて医師の手当てを受けてください。
 - 作業時は保護手袋等、安全な服装を着用し行ってください。
 - 作業場では火気を使用しないでください。
 - 作業後は必ず手洗い、うがいを行ってください。(特に喫煙、飲食前には必ず行ってください。)
- ブロック内耐火材**
- ブロック内の耐火材には発がん性のあるリフラクトリーセラミックファイバーを使用しています。万が一ブロック内耐火材が露出した場合はSDS(安全データシート)に従って対応してください。
 - ※SDSは別途ご用意しておりますのでお問い合わせください。
 - ブロック内耐火材の拡散を防止するために、ブロックを切断しないでください。
 - ブロック内耐火材が目に入った場合は、異物感が無くなるまで流水で洗浄してください。目は擦らないでください。
 - ブロック内耐火材が皮膚に付着した場合は、水またはぬるま湯で洗浄した後、石鹸でよく洗ってください。痛みが残る等、何かしらの症状がある場合は医師の診察を受けてください。
 - ブロック内耐火材を取り扱う際は防塵マスクを着用し、必要に応じて局所排気装置・除じん装置をご使用ください。
 - ブロック内耐火材が作業着に付着した場合は、超高性能エアフィルタ(HEPA)付き掃除機または粘着テープ等で飛散に留意しながら取り除いてください。
 - 作業場は禁煙にしてください。
 - 作業後は必ず手洗い、うがいを行ってください。

- 施工・保管の注意**
- ご使用の際には、所轄の行政機関にご確認ください。
 - 架橋ポリエチレン管、ポリブテン管・ガスフレキ管を直で配管はできません。さや管、被覆付等で配管してください。
 - ブロック・パテは冷暗所に保管し、直射日光、高温、水濡れを避けてください。また、可燃物付近に保管しないでください。
 - 高所での作業は、落下防止対策を実施して作業してください。

この取扱説明書とは異なる施工、変則的な施工をやむをえず実施する場合、又、ご不明な点がある場合は当社営業管理課にお問い合わせください。

お問い合わせ先: 〒503-0201 岐阜県安八郡輪之内町楡保 1695-1 未来工業(株) 営業管理課
TEL: (0584)68-0008(代) FAX: (0584)69-4282

ホームページ: <http://www.mirai.co.jp/product/taika/index.html> Eメール: mirai@mirai.co.jp

◀裏面をご覧ください。

MIRAI 未来工業株式会社

9071P

MIRAI 防火部材
タイカブラック[®] **ブロック(丸穴)**

品番: **MTKS-BK200**

適合ポイド呼び: 200 適合開口径: ~210mm

別途必要

- 中空壁: 開口補強板(品番: MTKB-200K150)
- 床: Z金具(品番: MTKS-BZM)

※施工構造により、上記の製品が別途必要となります。詳しくはカタログ等をご参照ください。

- 警告**
- 「国土交通大臣認定書」の仕様に基づき、正しく施工してください。
 - ケーブル等は火災時に過大な荷重がかかり、壁・床を損傷することがないように固定してください。
 - ※正しい施工を行わないと火災時に延焼の恐れがあります。
 - 施工した防火部材の上に乗らないでください。
 - ※開口部を破壊して転落したり、すき間が生じて火災時に延焼の恐れがあります。

注意 ●以下の事項を守らない場合、人体に影響を及ぼす恐れがあります。

- ブロック**
- ブロック・パテが皮膚に付着した場合は必要に応じて触れた箇所を石鹸等で洗浄してください。(人体への特別な影響が必ずあるわけではありません。)
 - ブロック・パテが目に入った場合は、真水で数分間洗浄し、傷がある場合や刺激を感じる場合等、必要に応じて医師の手当てを受けてください。
 - ブロック・パテを誤って飲み込んだ場合は、真水でよく口を洗浄し、必要に応じて医師の手当てを受けてください。
 - 作業時は保護手袋等、安全な服装を着用し行ってください。
 - 作業場では火気を使用しないでください。
 - 作業後は必ず手洗い、うがいを行ってください。(特に喫煙、飲食前には必ず行ってください。)
- ブロック内耐火材**
- ブロック内の耐火材には発がん性のあるリフラクトリーセラミックファイバーを使用しています。万が一ブロック内耐火材が露出した場合はSDS(安全データシート)に従って対応してください。
 - ※SDSは別途ご用意しておりますのでお問い合わせください。
 - ブロック内耐火材の拡散を防止するために、ブロックを切断しないでください。
 - ブロック内耐火材が目に入った場合は、異物感が無くなるまで流水で洗浄してください。目は擦らないでください。
 - ブロック内耐火材が皮膚に付着した場合は、水またはぬるま湯で洗浄した後、石鹸でよく洗ってください。痛みが残る等、何かしらの症状がある場合は医師の診察を受けてください。
 - ブロック内耐火材を取り扱う際は防塵マスクを着用し、必要に応じて局所排気装置・除じん装置をご使用ください。
 - ブロック内耐火材が作業着に付着した場合は、超高性能エアフィルタ(HEPA)付き掃除機または粘着テープ等で飛散に留意しながら取り除いてください。
 - 作業場は禁煙にしてください。
 - 作業後は必ず手洗い、うがいを行ってください。

- 施工・保管の注意**
- ご使用の際には、所轄の行政機関にご確認ください。
 - 架橋ポリエチレン管、ポリブテン管・ガスフレキ管を直で配管はできません。さや管、被覆付等で配管してください。
 - ブロック・パテは冷暗所に保管し、直射日光、高温、水濡れを避けてください。また、可燃物付近に保管しないでください。
 - 高所での作業は、落下防止対策を実施して作業してください。

この取扱説明書とは異なる施工、変則的な施工をやむをえず実施する場合、又、ご不明な点がある場合は当社営業管理課にお問い合わせください。

お問い合わせ先: 〒503-0201 岐阜県安八郡輪之内町楡保 1695-1 未来工業(株) 営業管理課
TEL: (0584)68-0008(代) FAX: (0584)69-4282

ホームページ: <http://www.mirai.co.jp/product/taika/index.html> Eメール: mirai@mirai.co.jp

◀裏面をご覧ください。

MIRAI 未来工業株式会社

9071P

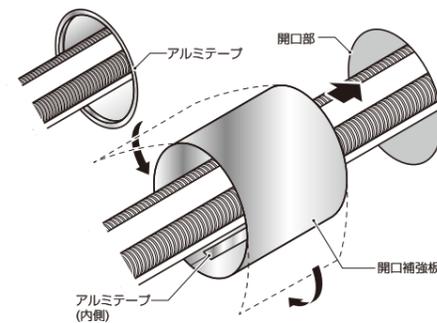
○準備 ●開口部にケーブル、電線管を施工します。

壁・中空壁の施工

床の施工

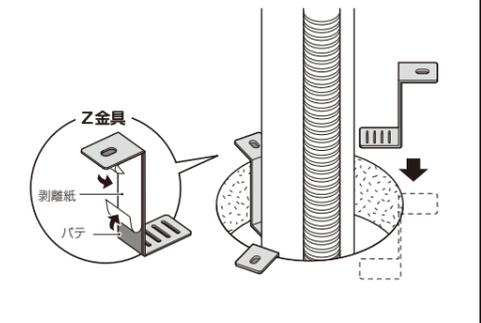
①開口補強板(別売)の取り付け(中空壁の場合)

- ※コンクリート、ALC壁の場合は必要ありません。
- 開口補強板(別売)を開口部に合わせて丸め、アルミテープで内側から固定し、開口部に差し込み、設置します。
- ※開口部と開口補強板のすき間が目立つ場合は、アルミテープ(品番: MTKS-T12)等を貼り付け、塞いでください。



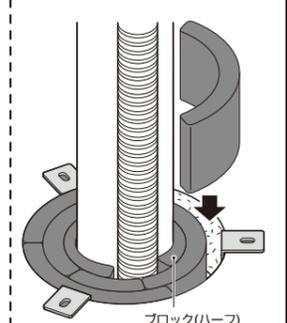
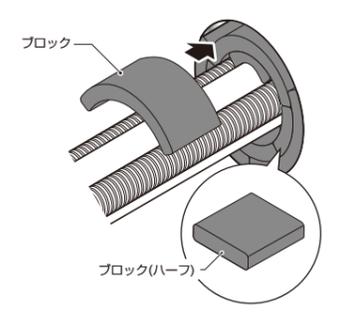
①Z金具の貼り付け

- 開口部にZ金具を貼り付けます。
- ※Z金具裏面の剥離紙をはがし、開口部に均等に貼っていきませう。
- ※貫通部の状況(開口とケーブル、電線管等のすき間)に応じて折り曲げて長さを調整してください。
- ※Z金具は開口部にアンカーで固定することもできます。



②ブロックの挿入

- 開口部とケーブル等の隙間にブロックを挿入します。
- ※開口部の端よりブロックを隙間なく挿入します。ブロックとブロック(ハーフ)を上手に組み合わせてご使用ください。
- ※充填しにくい場合は、ブロックの表面にシリコン潤滑材を塗布して挿入します。

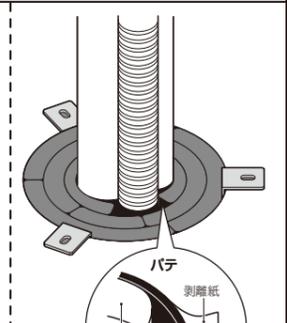
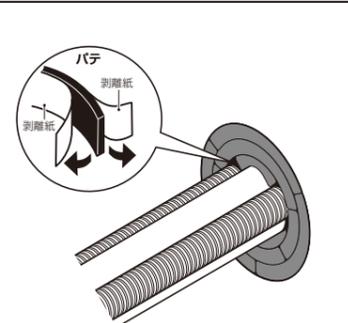


- ブロックが不足する場合は、別売のブロック(MTKS-B)、ブロック(ハーフ)(MTKS-B-H)を、パテが不足する場合は、別売のパテ(MTKS-GP2003)をご使用ください。

③パテの充填

- ケーブルとブロックとの隙間にパテを充填します。※隙間のないよう、密に充填します。

- ご注意**
- ※パテはブロックが入らない隙間にだけ使用してください。
 - ※パテが壁、床面からはみ出したり、ブロック表面に貼り付けられた状態だと剥がれて落下する恐れがあります。



パテが面からはみ出さないように施工してください。

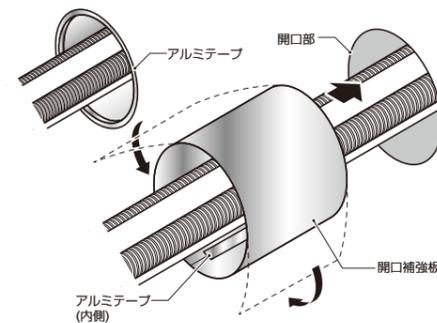
○準備 ●開口部にケーブル、電線管を施工します。

壁・中空壁の施工

床の施工

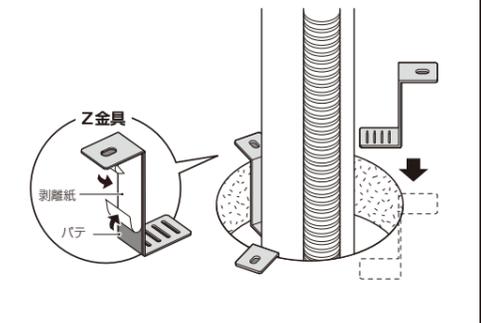
①開口補強板(別売)の取り付け(中空壁の場合)

- ※コンクリート、ALC壁の場合は必要ありません。
- 開口補強板(別売)を開口部に合わせて丸め、アルミテープで内側から固定し、開口部に差し込み、設置します。
- ※開口部と開口補強板のすき間が目立つ場合は、アルミテープ(品番: MTKS-T12)等を貼り付け、塞いでください。



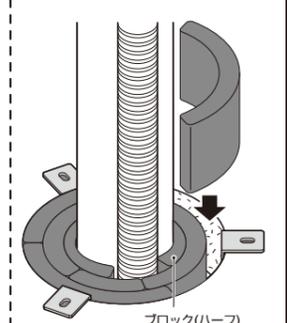
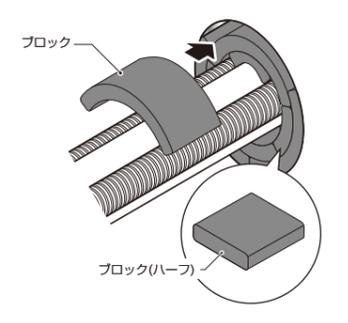
①Z金具の貼り付け

- 開口部にZ金具を貼り付けます。
- ※Z金具裏面の剥離紙をはがし、開口部に均等に貼っていきませう。
- ※貫通部の状況(開口とケーブル、電線管等のすき間)に応じて折り曲げて長さを調整してください。
- ※Z金具は開口部にアンカーで固定することもできます。



②ブロックの挿入

- 開口部とケーブル等の隙間にブロックを挿入します。
- ※開口部の端よりブロックを隙間なく挿入します。ブロックとブロック(ハーフ)を上手に組み合わせてご使用ください。
- ※充填しにくい場合は、ブロックの表面にシリコン潤滑材を塗布して挿入します。

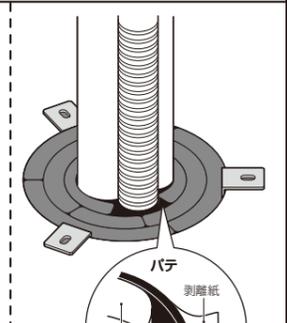
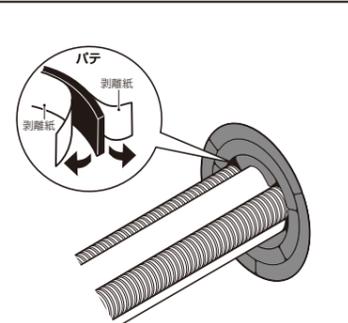


- ブロックが不足する場合は、別売のブロック(MTKS-B)、ブロック(ハーフ)(MTKS-B-H)を、パテが不足する場合は、別売のパテ(MTKS-GP2003)をご使用ください。

③パテの充填

- ケーブルとブロックとの隙間にパテを充填します。※隙間のないよう、密に充填します。

- ご注意**
- ※パテはブロックが入らない隙間にだけ使用してください。
 - ※パテが壁、床面からはみ出したり、ブロック表面に貼り付けられた状態だと剥がれて落下する恐れがあります。



パテが面からはみ出さないように施工してください。

MIRAI 防火部材
タイカブラック。ブロック(丸穴)

品番: **MTKS-BK250**

適合ポイド呼び: 250 適合開口径: ~260mm

ご注意 床にご使用いただく場合の開口はφ210mmまでとなっております。

別途必要 ●中空壁: 開口補強板(品番: MTKB-250K150)

※施工構造により、上記の製品が別途必要となります。詳しくはカタログ等をご参照ください。

- 警告 ●「国土交通大臣認定書」の仕様に基づき、正しく施工してください。
- ケーブル等は火災時に過大な荷重がかかり、壁・床を損傷することがないように固定してください。
 - ※正しい施工を行わないと火災時に延焼の恐れがあります。
 - 施工した防火部材の上に乗らないでください。
 - ※開口部を破壊して転落したり、すき間が生じて火災時に延焼の恐れがあります。

注意 ●以下の事項を守らない場合、人体に影響を及ぼす恐れがあります。

- ブロック・パテ
- ブロック・パテが皮膚に付着した場合は必要に応じて触れた箇所を石鹸等で洗浄してください。(人体への特別な影響が必ずあるわけではありません。)
 - ブロック・パテが目に入った場合は、真水で数分間洗浄し、傷がある場合や刺激を感じる場合等、必要に応じて医師の手当てを受けてください。
 - ブロック・パテを誤って飲み込んだ場合は、真水でよく口を洗浄し、必要に応じて医師の手当てを受けてください。
 - 作業時は保護手袋等、安全な服装を着用し行ってください。
 - 作業場では火気を使用しないでください。
 - 作業後は必ず手洗い、うがいを行ってください。(特に喫煙、飲食前には必ず行ってください。)
- ブロック内耐火材
- ブロック内の耐火材には発がん性のあるリフラクトリーセラミックファイバーを使用しています。万が一ブロック内耐火材が露出した場合はSDS(安全データシート)に従って対応してください。
 - ※SDSは別途ご用意しておりますのでお問い合わせください。
 - ブロック内耐火材の拡散を防止するために、ブロックを切断しないでください。
 - ブロック内耐火材が目に入った場合は、異物感が無くなるまで流水で洗浄してください。目は擦らないでください。
 - ブロック内耐火材が皮膚に付着した場合は、水またはぬるま湯で洗浄した後、石鹸でよく洗ってください。痛みが残る等、何かしらの症状がある場合は医師の診察を受けてください。
 - ブロック内耐火材を取り扱う際は防塵マスクを着用し、必要に応じて局所排気装置・除じん装置をご使用ください。
 - ブロック内耐火材が作業着に付着した場合は、超高性能エアフィルタ(HEPA)付き掃除機または粘着テープ等で飛散に留意しながら取り除いてください。
 - 作業場は禁煙にしてください。
 - 作業後は必ず手洗い、うがいを行ってください。

- 施工・保管の注意
- ご使用の際は、所轄の行政機関にご確認ください。
 - 架橋ポリエチレン管、ポリブテン管・ガスフレキ管を直で配管はできません。さや管、被覆付等で配管してください。
 - ブロック・パテは冷暗所に保管し、直射日光、高温、水濡れを避けてください。また、可燃物付近に保管しないでください。
 - 高所での作業は、落下防止対策を実施して作業してください。

この取扱説明書とは異なる施工、変則的な施工をやむをえず実施する場合、又、ご不明な点がある場合は当社営業管理課にお問い合わせください。

お問い合わせ先: 〒503-0201 岐阜県安八郡輪之内町楡俣 1695-1 未来工業(株) 営業管理課
TEL: (0584)68-0008(代) FAX: (0584)69-4282

ホームページ: <http://www.mirai.co.jp/product/taika/index.html> Eメール: mirai@mirai.co.jp

◀裏面をご覧ください。

MIRAI 未来工業株式会社

9071P

梱包内容

- ブロック……………7個
- ブロック(ハーフ)…8個
- パテ……………10個
- 認定シール……………1枚

認定シール: 認定シールは、国土交通大臣認定を取得していることを表示するシールです。(工法表示ラベル)

※上記の梱包品が梱包内容(数)通りであることをご確認の上ご使用ください。梱包品に誤りがあった場合は、お買い上げの販売店又は最寄りの当社営業所までご連絡ください。

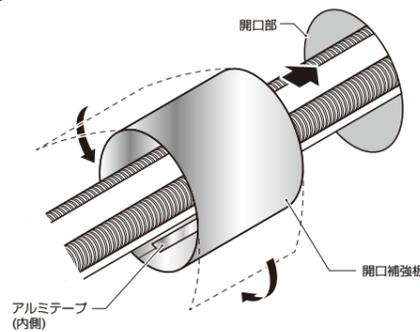
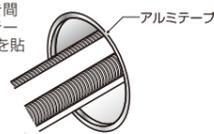
○準備 ●開口部にケーブル、電線管を施工します。

壁・中空壁の施工

①開口補強板(別売)の取り付け(中空壁の場合)
※コンクリート、ALC壁の場合は必要ありません。

- 開口補強板(別売)を開口部に合わせて丸め、アルミテープで内側から固定し、開口部に差し込み、設置します。

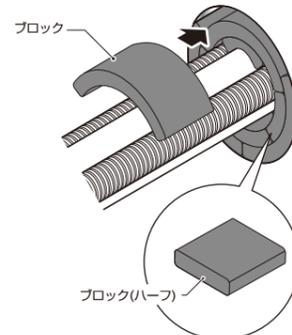
※開口部と開口補強板のすき間が目立つ場合は、アルミテープ(品番: MTKS-T12)等を貼り付け、塞いでください。



②ブロックの挿入

- 開口部とケーブル等の隙間にブロックを挿入します。
- ※開口部の端よりブロックを隙間なく挿入します。ブロックとブロック(ハーフ)を上手に組み合わせてください。
- ※充填しにくい場合は、ブロックの表面にシリコン潤滑材を塗布して挿入します。

- ブロック挿入前に予めケーブル・配管周りにパテを巻きつけておくことで、より確実に施工できます。
- ブロックが不足する場合は、別売のブロック(MTKS-B)、ブロック(ハーフ)(MTKS-BH)を、パテが不足する場合は、別売のパテ(MTKS-GP1002、MTKS-GP2002、MTKS-GP2003、MTKS-GP2010)をご使用ください。



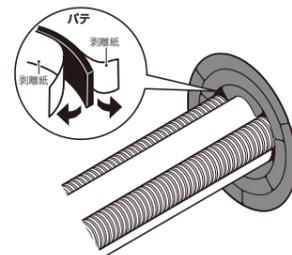
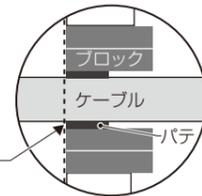
③パテの充填

- ケーブルとブロックとの隙間にパテを充填します。
- ※隙間のないよう、密に充填します。

ご注意

※パテはブロックが入らない隙間にだけ使用してください。

※パテが壁、床面からはみ出したり、ブロック表面に貼り付けられた状態だと剥がれて落下する恐れがあります。



パテが面からはみ出さないように施工してください。